

【 内 容 】

- 北海道が運営する移住ポータルサイト「北海道の人、暮らし、仕事 くらしごと」にて、現住地（地方）・家賃・世帯構成を入力し、移住希望先となる道内の市町を選択すると、移住前後の1カ月単位と1年単位の生活費想定（差額）が算定できる
- 食料や住居、光熱・水道、家具・家事用品、被服及び履物、保健医療、交通・通信、教育、教養娯楽の9項目ごとに細かくシミュレーションを展開



＜ 効 果 ＞

- 「北海道で暮らしたい」と漠然と考えている層に対し、北海道への移住の検討を深めるきっかけになったという声を聞いている（北海道庁担当者）。

〔茨木県・猿島郡境町〕 条件付きで新築住宅を無償譲渡

【 内 容 】

- 25年間住み続ければ新築住宅を無償譲渡
 - ・ 25年間賃貸として住み続けると、土地と建物が譲渡される ※駐車場支払有
 - ・ 子育て世帯、新婚世帯（町外からの移住者を優先）
 - ・ 賃貸期間中の固定資産税が、企業等の社宅制度と組み合わせることも可能
- 自動運転バス導入、英語教育の無償化等、生活コストの削減と利便性を両立
- 単に「家をあげる」だけでなく、英語教育や子育て支援など他の施策と組み合わせることで、「選ばれる自治体」としての地位を確立



＜ 効 果 ＞

- 2025年時点 第4弾まで募集 過去満室（65棟）
- 宝島社『田舎暮らしの本』（R7年2月号）の「移住者増の人気地ベスト100」で、全国第1位
- 7年ぶりの人口増加達成
- 令和6年度に、町全体で67人の人口増を達成
- 直近9年間で、転入者が転出者を上回る「社会増」が累計で800人以上に
- 2024年度単年でも272人の社会増を記録
- 子育て世代の流入に成功
- 募集対象を子育て世帯や新婚世帯に限定しているため、若年層の定住が加速

[栃木県・那須町] 独自の給付金など三点の先進的な移住施策

【 内 容 】

- 二地域居住の推進、独自の給付金制度、多角的なサポート体制の3点からなる先進的な移住施策を展開。特に、週末滞在など柔軟な関わりを支援する「二地域居住」の推進や、学生向け奨学金やおむつ無料券配布といった子育て・教育支援が特徴
- 那須町ゆめみらい応援給付金: 学習意欲の高い学生に対し、年額100万円（4年制大学なら最大400万円）を給付、※返済不要の非常に手厚い奨学金制度
- 移住支援補助金: 東京圏（23区内または通勤者）からの移住で、世帯なら100万円、単身なら60万円を支給。18歳未満の子供1人につき加算
- 独自の空家バンクを運営、良質な中古物件の流通を促進
- 移住者を意識したWORK BASE NASUなどのテレワーク施設も整備

< 効 果 >

- 国の推計を上回るペースで人口を維持しており、移住施策が一定の効果（22,000人と予測していたが2025年6月時点の実数では23,688人と、予測を約1,600人上回る。



[千葉県・いすみ市] 「食」と「コミュニティ」を核とした独自の循環型モデル

【 内 容 】

- 市内の小中学校の給食で使われる米をすべて「いすみっこ（無農薬・無化学肥料栽培）」にするなど、食の安全に敏感な子育て世代を意識
- 環境共生型のブランディング、有機農業や自然保護（いすみ星空の取組等）が、都会からの移住者が求める「持続可能な暮らし」とマッチし、クリエイティブな層が流入
- 先輩移住者によるサポートなど 移住者がさらに移住者を呼ぶ「連鎖型」の移住が発生、新旧住民が混ざり合うコミュニティが自然に形成
- 趣味、起業、週末利用の二拠点生活など、多様な働き方を受け入れる風土

< 効 果 >

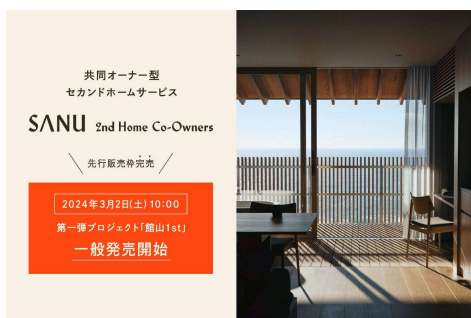
- 「住みたい田舎ベストランキング」首都圏エリアで9年連続1位（2025年版）
- 2026年度版「住みたい田舎ベストランキング」人口3万人以上5万人未満の市、全ての部門で第1位を獲得



[千葉県・南房総市] サブスク型二拠点居住「SANU 2nd Home」との連携

【 内 容 】

- 従来の「観光」か「移住」かという二択ではなく、関係人口から二拠点居住へと段階的に生活を浸透させる仕組みを民間主導で構築
- 移住ハードルの低下：サブスク形式により、若年層が低コスト・低リスクで「お試し移住」を始められる点。
- 関係人口の深化：繰り返し訪れる仕組みで、単なる観光客ではなく「なじみの住民」として地域と繋がれる点。
- 定着への導線：支払ったサブスク料を所有権購入に充てられるなど、「通う」から「所有」へと段階的に定着を促す点。
- 行政との連携：ふるさと納税や自治体との協定を通じ、民間主導で地域のファンを増やしている点。



< 効 果 >

- **全国**サブスク会員数は約3,000名で、入会待ちが発生するほどの需要

[群馬県・下仁田町] ねぎとこんにゃくの「農業の右腕」プロジェクト

【 内 容 】

- 単なる農作業の手伝いではなく、農家の「経営パートナー（右腕）」として移住者を募集
- マーケティングやEC販売、ブランディングを若者に委託
- 「労働力」としてではなく「クリエイティブな人材」として迎え入れ、住居（空き家バンク活用）と活動費を保証。
- 若者のビジネススキルを地域資源で試す場として募集



< 効 果 >

- 任期終了後、引き続き下仁田町で就農者となった実績もあり

〔青森県〕 移住PS「あおもり移住者のリアルストーリー」

【 内 容 】

- 青森県が運営する移住ポータルサイト「あおもり暮らし」では、青森県へ移住し、豊かな暮らしを実現している人の実情を紹介するマンガコンテンツを公開
- 移住までのステップや抱えていた不安、移住して実現できた多様な働き方、青森だからこその魅力的な暮らしぶりなどリアルな体験談をもとにしたノンフィクションストーリーを楽しめる



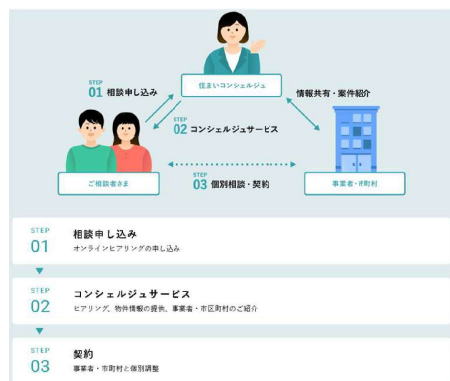
< 効 果 >

- 移住者の苦労した点も良かった点も簡潔にまとめられており、移住者のインタビュー記事よりも見やすく県内への移住検討が深まったという声もいただいている（県庁担当者）。

〔福島県〕 ふくしま住まいコンシェルジュ

【 内 容 】

- 福島県が運営するポータルサイト「ふくしま住まいコンシェルジュ」では、県内の市町村・住宅事業者と連携し、県内外からの移住希望者の住まいに関する相談に対して一元的に対応
- 相談者に対して、住環境や家賃等の相談内容に応じた適切な地域の提案を行うことが可能
- 市町村運営の空家バンクが乱立し、住まい探しに苦労する方に対して、県内の住まい情報を効率的に提供することが可能



< 効 果 >

- 全国的には空家バンクの運営が市町村による運営が散見される中、当県では、県内の情報を集約し、

〔新潟県・新潟市〕「にいがた2km」事業

【 内 容 】

- 新潟駅から2kmのエリアで、ビジネス・新たな価値の創出により賑わいを創出する
- リノベーションスクール…(株)リノベリングと連携し、エリア内の遊休不動産を対象に受講生が地域再生の事業計画を設計⇒不動産オーナー・市民にプレゼンして承認されれば事業化へ移行
- にいがたまちあそび学校…新潟市、(株)新潟日報社、新潟商工会議所で組織される実行委員公が若手運営メンバーを選定し、企画運営を委託。運営費用は企業協賛と市負担金。



< 効果 >

- リノベーションスクールから、3軒の空き店舗活用事業が開始
- まちあそび学校（全14回開催）に、県内外からのべ500人が参加

〔富山県・氷見市〕 移住関係施策

【 内 容 】

- 移住者自動車運転支援補助金…移住後の自動車運転に不安がある方、または新たに自動車免許を取得される方に、市内の自動車学校での講習費用を補助。
- 空家優良物件化支援補助金…空家所有者又は所有者から空家を借り受け、第三者に転貸しようとする者が、リフォームや家財の撤去等を行う工事費用を補助
- 氷見市IU応援センター…運営事業者を公募型プロポーザル×移住者獲得実績に応じた出来高払いで効果向上など



< 効 果 >



[石川県・金沢市ほか] 石川中央都市圏

【 内 容 】

- 金沢市を中心とした6市町で構成する圏域
- 交通、教育、仕事、医療、子育て、伝統文化、自然、生活が整った「住みやすさ」を打ち出し



< 効 果 >

- 圏域内の人口は微減（H27：729千人⇒R7：723千人）
- 野々市市は約4万人増
- 大東建託による住み心地ランキングの北陸版で圏域内市町が1～5位を独占

[福井県・福井市] 週末就活事業

【 内 容 】

- 週末就活という週末に現地企業を訪問する転職者向けの施策
- 金曜日または金・土曜日を利用して福井に来てもらい、1日または2日かけて2～3社を市の職員と訪問する。
- 訪問者には宿泊費・交通費を一部助成している。
- 訪問先は、しごと支援課が運営しているサイト「ふくいおしごとネット」やハローワークに求人を出している企業から市職員が訪問先を提案し、訪問者に選定してもらう。
- 家族の同伴も可能で、希望に応じて企業訪問の間に現地の生活環境を確認することができる。



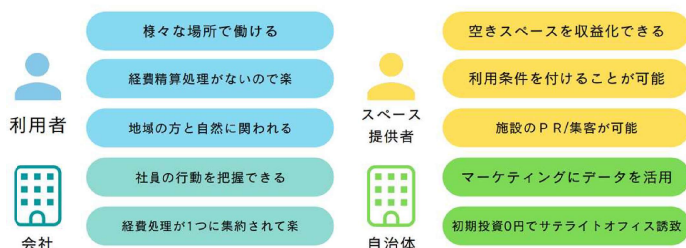
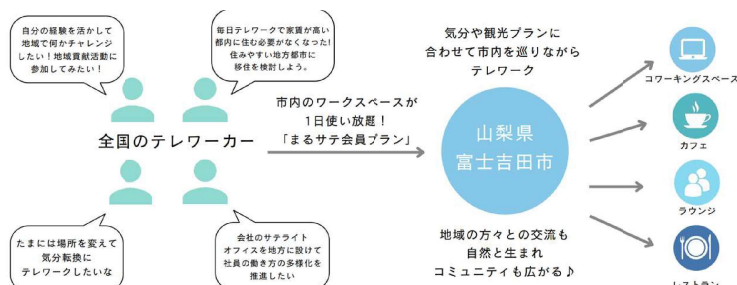
< 効 果 >

- 総務省『「地方への人の流れの創出」に向けた効果的移住定住推進施策』に選出

[山梨県・富士吉田市] まるごとサテライトオフィス

【 内 容 】

- 市内約40か所にワークスペース提携施設（コワーキングスペース、カフェ、博物館、アウトドア施設等）を用意
- 民間事業者と提携し、スマートフォンで入退室管理ができるシステムを導入



< 効 果 >

- 拠点となるコワーキングスペースは、開所5か月で利用者1,300人
- 遊休不動産のオーナーと市外参加者との交流会15回で450名が参加、平均3泊
⇒空店舗を活用した古着販売が開業

[長野県・南箕輪村] 子育て支援施策

【 内 容 】

- 保育料引き下げ（H17～）
- 福祉医療費の対象年齢引き上げ（未就学児まで→高校3年まで）（H25～）
- 子育て支援センター（H17）、児童発達支援所（H25）の整備
- 未就学児～小学生までの教育相談窓口の一元化（H22～）
- 女性のための再就職トータルサポートセンター（H28～）

⇒「子育てするなら南箕輪村が良いらしい」という口コミ、イメージが定着



< 効 果 >

- 村民の増加：14,037人（H16）⇒16,010人（R5）
- 移住者の割合73.3%（R4時点）
- サポートセンターを通じた再就職301名（H28～R4の合計）

[岐阜県・高山市] 関係人口創出・短期人材受入支援事業

【 内 容 】

- 市内事業者が民間の短期人材募集マッチングサービスを利用して、飛騨地域外に住む人材を短期雇用した際の以下の費用を補助
 - マッチング手数料
 - 雇用した人材の宿泊料

< 効 果 >

- 2年間で延べ約140人がこの制度を活用し、延べ約1500日就業
- 移住者数は岐阜県内でトップ（R6年度：287人）



[愛知県・蒲郡市] 三世代同居・近居住宅支援補助金

【 内 容 】

- 世代間の支え合いにより、子育てや介護における不安及び負担を軽減する居住環境の形成を目的として、新たに三世代で同居・近居するために住宅を新築・リフォームや購入する方に対し、費用の一部を補助
- 補助対象の要件は、親世帯は蒲郡市内に居住、1年前から現在まで三世代で同居していない、子世帯は市外に居住又は市内の賃貸住宅に住んでいる等

< 効 果 >

	R4		R5		R6	
	補助金額	件数	補助金額	件数	補助金額	件数
同居（新築・購入）	500	1	500	1	1,800	8
同居（リフォーム）	1,862	4	500	1	500	3
近居	1,500	6	1,500	6	2,200	24



同居（新築・購入）の場合 ▶ **20万円**（上限）

同居（リフォーム）の場合 ▶ **10万円**（上限）

近居（新築・購入）の場合 ▶ **5万円**（上限）

加算 ▶ 対象住宅が居住誘導区域内にあり、子世帯に18歳以下の子どもがいる場合
同居の場合 ▶ 10万円を加算 近居の場合 ▶ 5万円を加算

〔静岡県・浜松市〕はままつ暮らし促進事業

【 内 容 】

- 移住コーディネーターを商工会議所内に配置
- 首都圏で開催される移住相談会や移住イベントに浜松商工会議所の職員も同行
- ハマライフ住宅取得費等補助…新築や購入、リフォーム、賃貸、引越移転等の幅広い補助対象
- Welcome集落制度…移住者1人当たり10万円を集落へ支給

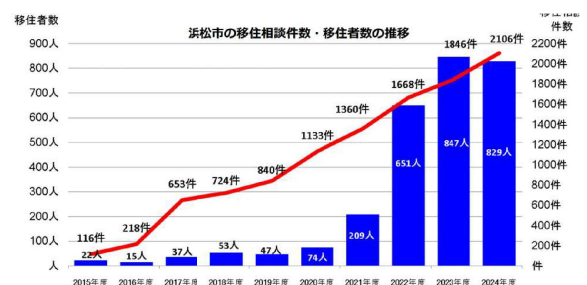


はままつUターン就職寄り添い相談

浜松商工会議所は、2017（平成29）年から移住と就職を一体的に支援する「はままつUターン就職寄り添い相談」を開始しました。LINEで移住希望者とながら、浜松移住コーディネーターと連携しながら企業紹介や職場見学、面接の日程調整などのサポートを行っています。

< 効 果 >

➤ 移住相談・移住者ともに増加（県内1位）



〔三重県・桑名市〕人口減少対策パッケージ

【 内 容 】

フェーズ1 流入促進

生産年齢人口の外部からの流入を促進する

移住してくる人の生活を応援

移住してきた方に補助金を交付

駅前に住むところを増やす

駅周辺にマンション等を建てた事業者に補助を行う

桑名を好きになってもらう

桑名市の認知度向上から移住につなげるため、桑名ファンクラブの会員を募集！

働く場所を増やす

桑名に工場等を建てる企業を応援

- ・定住促進奨励金
- ・立地奨励金

桑名に企業を呼び込むPR活動

フェーズ2 定着環境整備

生産年齢人口が子育てしやすい環境を整える

新婚家庭を応援

新婚家庭の住居費等を支援

子育て中のリフレッシュを提供

子育て中のママリフレッシュ・家事代行に使えるチケットを配布 **選択肢増**

子育てで知りたいこと・疑問を解決

桑名市ホームページからQRコードで子育ての悩み相談が可能に

子育て世帯の負担軽減

- ・医療費を高校生まで無料に
- ・多子世帯の保育料軽減
- ・おむつ回収とサブスクリプション
- ・病児保育支援システム導入 **NEW**

子どもへの支援

- ・子どもの居場所づくり **充実**
- ・学童保育所に対する支援
- ・子どもの体験を増やす取り組み **NEW**

子どもたちが学校や学童等で多様な体験できるように！

- ・様々な講師による体験をメニュー化
- ・アプリ化して、気軽に申込
- ・先生たちの準備等の負担を軽減

⇒子どもの体験を増やすことで将来の選択肢を広げる

病児保育の手続きをオンラインで！

- ・事前申請のオンライン化
- ・24時間スズで予約&キャンセル受付
- ・空き状況の見える化 等

フェーズ3 流出抑制

今の子ども・若者の考えに寄り添った施策を実施し、将来の生産年齢人口を獲得・確保する

若者の意見を聞く

若者の本当の想いや考えを引き出し、市の施策に反映させる。

結婚・恋愛したい人の出会いを応援

マッチングアプリ事業者との連携による出会い支援

次世代のデジタル人材を育てる

- ・プログラミング教室の実施
- ・デジタル関係の資格取得応援

< 効 果 >

- 住宅取得補助…R5：71世帯222人、R6：139世帯370人が転入
- 上記210世帯でR7年末までに55人の赤ちゃんが生まれ、市の出生数が9年ぶりに増加